

JLReq v2 F2F 忌憚のない話し合い

Nat McCully, Adobe

JLReqのいいところ

- JIS X 4051よりも遥かにわかりやすく書いてある
- オペレーターの知識が見える
- 本の組版については細かく書いてある

でも、あえて要求点を言うならば…

- JLReqは外国人開発者が対象なのに、例えば2.4.2の説明では当たり前のように仮想ボディーの話があるが、欧文ベースラインの世界の人は多分、最低減の条件や重要性は把握しない心配がある。
- JIS X 4051の基本反面の説明がメインな印象だが、これからは仮想ボディーの行組版や、行送り方式や、ベースラインなどは基本反面のない responsiveの場合にも必須ではないかと思う。仮想ボディーや行のアキが基本反面があるから成り立つのが印象だが、そうでもないことだろう。
- 例えば、Webでは不可能な2.5.1のはみ出ることは必須？ 私は必須だと思う。でも、何が必須なのかは明確ではない（開発者には）。

JLReqの対象閲覧者のために再構成？

- 開発者として望ましい情報：必須なものを決めて、細かく説明
- 日本語の基本の特徴を知りたいデザイナーやテスター：今のままでいい？
- 印刷物（或は伝統的な日本語組版）の記録：今のままでいい？
- Web rendering enginesとのGapを明確に、改善への推進：これはオペレーターの立場から書くのではなくて、Webの詳しい人や欧文組版エンジンの開発者の立場で書いた方がいいかも。Boxモデルとはどう違うかなど。田嶋さんのブログがそれがいい方です。

New organization could look like...

- Basic Information — Character types, the embox, the line, line leading, frame edges
- Notes for implementers — Baselines, line height, line leading, different from the line box model of the web, different from the Roman baseline model of every other text engine
- Advanced information — 詰め組、空け組、追い込み処理、約物の文字組み、分離禁止、連数字処理、など
- Advanced information 2 — 縦組み、縦中横、欧文回転、下線
- Advanced information 3 —

開発者が望む情報：必要な条件

- 行内：フォントメトリックス
 - 仮想ボディーの重要性：字幅、行の高さ、フレーム枠、ベースライン、テキスト内外の整列
 - APIやフォントには情報が浅いので、改善されるまでは自己構成
- フレーム内：フォントメトリックス
 - 行のアキ、行送り基準点、組み方向、行の配置（送りやグリッドなどの影響）
- 基本反面の役割：responsiveやリフローには同じようなものはある？ グリッドやガイド、余白のバランスを保護（自動計算）するもの？

文字組みアキ量設定の対話

- 主なユースケースをどう見分けるか
 - Web（可変）と印刷物（静止）は違う？
 - 文字列の長さ？ 内容にもよる？
- 文字クラス数を減らす？
- 行内の設定は複数必要？
- 行末は半角でいい？
 などなど